

第2学年 技術・家庭科（技術分野）

教科のねらい

- ① 実践的・体験的な学習活動を通して、ものづくりに関する基礎的な知識と技術を習得する。
- ② 技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を身に付ける。

☆学習を進めるに当たって

使用教材	○教科書：技術・家庭 技術分野（東京書籍）	持ち物	・教科書 ・ファイル ・定規・コンパス
学習の進め方	<授業> ※前・後期に分けて学習 ○授業に積極的に参加しよう 自分の生活を振り返り、自分のこととして結びつけましょう。人の意見を聞いたり教え合ったりすることで、新しいアイデアを手に入れ、実習では生活に役立てられるように基礎的な技術を身に付けよう。 ○必要な知識は覚えよう 基礎的なことや用語を覚えていないと、説明されても「分からない!」となってしまう。基本的なことや用語は早く覚えよう。 ○黒板に書いた内容をしっかり書き留めよう 定期テストは各学期末です。テスト前に学習プリントを見直したとき、意味がしっかりと分かるように、ていねいに書いておこう。 <家庭学習> ○実践して生活にいかそう 学んだ知識や技術を自分の生活場面でどんどん活用しよう。そうすることで、知識や技術の定着が図られます。 <定期テスト> ○前期の学級は2学期中間に、後期の学級は学年末に100点満点で50分のテストを行います。		
学習上の注意等	○授業中の指示をしっかり聞き、話を聞くとときと作業をするときの切り替えをきちんとしよう。 ○指示があるまで待ち、勝手に機械や道具を使わないようにしよう。 ○扱い方を間違えると危険な機械や道具もあるので、安全に気を付け、いつも真剣に授業に取り組もう。 ○授業で話される内容や気づいたことを自分なりに工夫し、プリントにまとめよう。 ○友達と助け合い、教えあい、学び合おう。		

☆学習内容および評価について

学 習 計 画					評価にあたって		
学 期	期	月	単 元 計 画	試 験	評価観点	評価の場面・方法	
1	前期		※2・3組は技術を学習します。 (1組は家庭を学習します)		生活 や 技 術 へ の 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	・ものづくりに関する 技術について感心を もち、生活をよりよ くするために知識と 技術を進んで活用し ようとしている。	・学習プリントの 記入内容 ・授業での発言 ・活動状況の様子 ・忘れ物
		4	○材料の特徴 ・材料の特徴を調べ、まとめ る				
		5	○製作品の設計 ・製図				
		6	・製作品の構想				
2	前期	7	○部品加工 ・製作の準備 ・けがき、切断	中 間	生活 を 工 夫 し 創 造 す る 能 力	・生活と技術とのかか わりについて見直し、 課題を見つけ、その解 決のために技術を適 切に活用して、工夫し 創造することができる。	・学習プリントの 記入内容 ・授業での発言 ・活動状況の様子 ・作品の完成度
		9	・切削、穴あけ ・ねじ切り				
		10	○組立てと仕上げ ○製作品の評価 まとめ				
			※1組は技術を学習します。 (2・3組は家庭を学習します)				
3	後 期	11	○材料の特徴 ・材料の特徴を調べ、まとめ る		生 活 の 技 能	・ものづくりに必要な 基礎的な技術を身に つけ、その技術を安全 で適切に活用するこ とができる。	・学習プリントの 記入内容 ・活動状況の様子 ・定期テスト ・作品の完成度
		12	○製作品の設計 ・製図				
			・製作品の構想				
			○部品加工 ・製作の準備				
3			・けがき、切断 ・切削、穴あけ ・ねじ切り	学 年 末	生 活 や 技 術 に つ い て の 知 識 ・ 理 解	・生活や産業の中での 技術の役割につい て理解しものづく りに必要な基礎的 な知識を身に付け る。	・学習プリントの 記入内容 ・授業での発言 ・定期テスト
		1	○組立てと仕上げ				
		2	○製作品の評価				
		3	まとめ				